

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

第30回西関東吹奏楽コンクールに出場し金賞を受賞！



花園中学校吹奏楽部の皆さん  
(前列左から)副部長 扇原聖音さん、部長 信原桃華さん、副部長 笹井美乃花さん、(後列左から)顧問 沖野谷隆先生、楽指揮 井口蘭さん

チームワークで織りなす  
最高のハーモニー

「合奏中、前の方でフルートやクラリネットなどのきれいな旋律が波のようになって、後ろに伝わってくる感じにいつも聴きほれていたよ。」「実は私たちが後ろから聴こえてくる、金管楽器の迫力あるサウンドや重低音を感じながら音を合わせていたよね。」と、演奏中の実感や喜びを分かち合うのは、花園中学校吹奏楽部の3年生たちです。

この夏、部員がひとつになって大切に育んできた自由曲と課題曲を携えてコンクールに挑み、北部地区大会や埼玉県大会で金賞、さらに進出した西関東大会でも金賞を受賞しました。

西関東大会は、「いつもの練習風景を思い出しながら演奏しました。」「1年生の時に西関東大会で演奏したホールだったので、同じ場所でみんなと演奏ができて



▲新潟県新潟市において行われた第30回西関東吹奏楽コンクールの会場での記念撮影

幸せでした。」「悔いのない演奏をしようという気持ちが注ぎ込まれていたと思います。」などと、緊張しながらも、それぞれの思いが詰まった演奏となりました。

花園中学校吹奏楽部は、この6年間で4回の西関東大会出場を果たし、一昨年は東日本大会に出場、昨年はアンサンブルコンテストでも西関東大会金賞という、多くの実績がある強豪校です。顧問の沖野谷先生は、「部員には、常に自分たちの音を磨き続けることや、仲間と一生懸命音を紡いでいくことを大切にしてほしいですね。」と話します。また、限られた時間と環境の中で練習を頑張る部員を、温かく見守る、地域の方々や卒業生たちの存在も大きな支えとなっています。

そんな周囲のかたへの感謝の気持ちをも音色にかえて、花園中学校吹奏楽部の奏でるハーモニーは、これからも響き続けます。

## 男女共同参画 情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや

図人権政策課 ☎574 - 6643

### 『誰か』のこと じゃない。～性の多様性への理解を深めよう～PARTVII

#### 絵本を通して考えてみよう



性の多様性について書かれた絵本が、多く出版されています。子ども向けに分かりやすく書かれていますので、大人のかたもぜひ読んで理解を深めませんか。

市内の図書館でも借りられる本を紹介するので、ぜひ手に取ってみてください。

「ふつう」ってなんだ？ LGBTについて知る本  
(特定非営利活動法人ReBit/監修 殿ヶ谷美由紀/漫画 Gakken)

いろいろな性、いろいろな生きかた (全3巻)  
(渡辺大輔/監修 ポプラ社)

女の子になりたい男子 LGBTって何？  
(森木森も/著 みらいパブリッシング)

みんなで知りたい LGBTQ+ (全5巻)  
(電通ダイバーシティ・ラボ/企画 特定非営利活動法人ReBit/監修 文研出版)

#### 研修会を開催しました！

8月21日に上柴公民館で『多様性を認め合う職場を目指して～LGBTQへの配慮～研修会』を開催し、事業所および市民の皆さんが参加しました。

参加者から、『大変勉強になった。』『多くの人に知ってもらい必要がある。』という感想をいただきました。

【参加事業所】 大東食研株式会社深谷工場 ほか

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

## ふっか 散歩



134 旧煉瓦製造施設「ホフマン輪窯 6号窯」一部公開

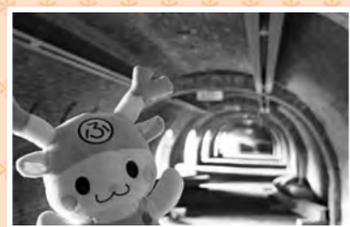
ホフマン輪窯6号窯は、深谷産のレンガが作られていた施設の1つで、国重要文化財なんだって！今は保存修理の工事中だけど、内部を一部公開している日もあると聞いて、見学に来てみたよ。  
外からはレンガの壁が見えるね。中はどうなっているのかなあ。



▼敷地内には「旧変電室」と「旧事務所」があって、レトロな外観が見学できるよ。これも国重要文化財なんだってえ。



▲まず、プレハブの仮設展示施設で受け付け！パネル展示と映像があるよ。ここは、毎日午前9時～午後4時(最終入場午後3時30分)に見学できるよ。  
詳しくは市ホームページをチェック！



▲ホフマン輪窯の中に来たよ。ここで毎日レンガを焼いていたんだって。公開は土・日曜日、祝日だけ(土曜日は急ぎよ中止あり)。公開している日に行けたら見学してみてね！

ふっかちゃんの  
つ・ぶ・や・き  
10月31日はハロウィンだよねえ～♪  
みんなでふっかちゃんの仮装をしてお菓子をもらっちゃお～！(oωo)Y



## 心の広場

上柴東小学校4年(現5年)  
諸田 怜祐さん



#### 人けんのことについて

ぼくは、今日校長先生の人けんについてのお話を聞いて、思ったことが3つあります。

1つ目は、「いじめ」はぜったいにゆるされないということです。理由は、いじめをすると、自分も相手も気持ちよく生活できなくなってしまうと思いました。なのでこれからは、いじめをしているのを見かけたら注意したいです。また、仲間はずれや悪い言葉をぜったいに使ってはいけないんだとぼくは、考えました。

2つ目は、自分がやられていやなことや言われていやな言葉はぜったいに使ってはいけないということです。理由は、自分が言われていやな言葉を言ったり、いやなことをしたりしてしまうと、相手がぎずついてしまうとぼくは考えました。自分もいやな言葉ややられていやなことをしないように気を付けて生活しますが、いやな言葉ややられていやなことをしている人をみかけたら注意してあげてみんなで楽しい生活をしていきたいです。

3つ目は、相手の気持ちを考えて行動するという事です。

理由は、相手の気持ちを考えなかったら、友達に悪口を言ってしまうこともあるかもしれないし、相手がぎずついてしまうと考えました。ぼくは、相手の気持ちを考えないといじめにつながると気付きました。

それに、虫でも動物でも命は一つしかないのはかわらないのでばってはいけません。

また、パズルのようにピースでもかけたら完成しないということと同じように一人でもかけてしまったら仲良しな4年2組にならないと考えました。

ぼくは、今の4年2組をもっとよくするためにみんなが仲良くし、けんか、いじめ、仲間はずれなどそういったことのない明るい、楽しい、元気な4年2組にしていきたいです。

